

KINDAI KENCHIKU

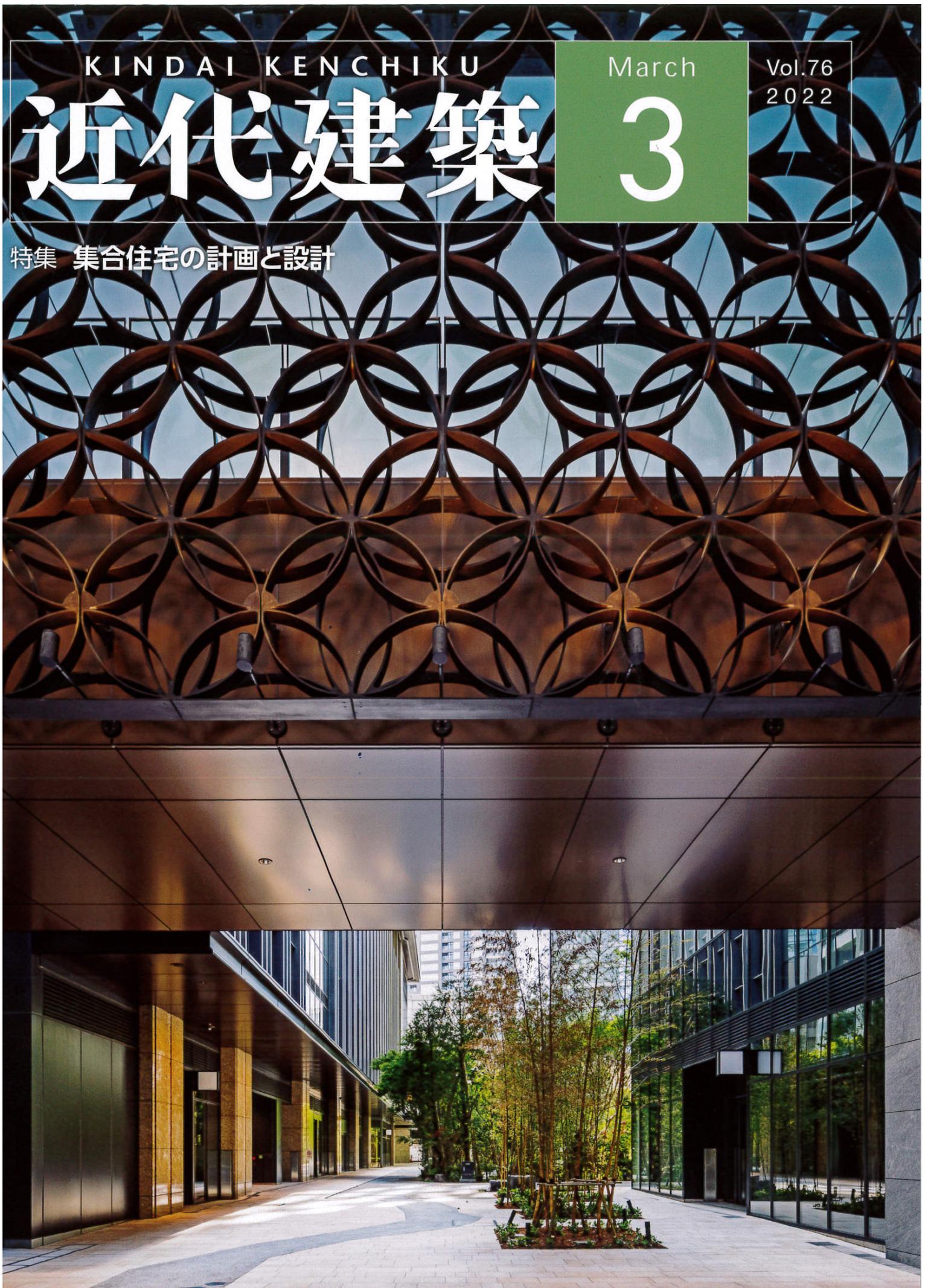
March

Vol.76  
2022

# 近代建築

# 3

特集 集合住宅の計画と設計



# THE OUTLETS HIROSHIMA 増床

広島市佐伯区

環境デザイン/INPROUD  
内装監理/ジーク

基本設計/松田平田設計  
設計・監理/大本組一級建築事務所  
施工/大本組





生命観に満ちた増床部エントランス

## 計画概要

### 一 施設の発展

「THE OUTLETS HIROSHIMA」は2018年4月にイオンモールの地域創生型商業施設として開業した。それ以降、当施設を核として周辺住居地域の発展が進んでいる中、今回の増床リニューアル工事が計画された。2020年には駐車台数確保のため、立体駐車場を新設。これまで駐車場として利用していた既存建物の2階北側に約200mのアウトレットモールを増床した。既存の約200の店舗に加え、増床棟にセレクトショップやライフ

スタイル提案型ブランドなどの約30店舗を導入し、子どもの遊び場も新設したことで、より一層来訪者のニーズに寄りそった施設に生まれ変わった。

### 一 垂直増築を見越した1期の設計計画とそれを利用した増床棟設計

今回の垂直増床は1期工事設計段階で計画されていたため、既存施設に増床用の躯体やインフラルート、設備スペースなどを垂直増築を見越した設計としていた。増床棟計画時にはそれらを利用し、工事エリア直下の店舗や施設の営業継続に支障が出ないよう、

既存部分の撤去を最小限に抑える設計を行った。

### 一 施設計画

既存の約800mのアウトレットモールから連続する形で計画され、増床後は総延長1kmに及ぶ。既存のエレベーターとエスカレーターにより1階のインナーモールとの行き来も自由に行える。エントランス外装には壁面緑化設備を設けるとともに、太陽光発電設備(約1,000kW)を屋上に新設し、世界的に求められている脱炭素社会の実現に向けた施設となっている。(川上善嗣/大本組)



既存部の中央エリア



既存部の南側エリア

## デザイン計画

### 一 既存部と増床部との

#### デザインにおける差別化が回遊性を促進する

既存部モールは、大きく2つの環境に分かれている。中央エリアは、施設を象徴するハイブランドが入店するエリアとして位置づけられ、白を基調としたモダンで品格のあるデザインになっている。南側エリアは、アウトドアやスポーツブランドが入店するエリアとして、木調の素材感と屋根形状が印象的な空間になっている。増床後の約1kmのアウトレットモールをスムーズに回遊できるように、増床する北側エリアの環境は、中央と南側エリアとは全く異なる世界観を演出することが求められた。広島には、中国地方で最も栄える街があり(中央エリア)、緑豊かな山林もある(南側エリア)。そして瀬戸内海にみられる日本有数の海の風景も広がっている。北側エリアはライフスタイル提案型ブランドが入店するエリアとして、地域に最も馴染み深い「海沿いの風景」をモチーフにデザインした。世界観の全く異なる3つのエリアを設定することで、

訪れた人々が飽きずに施設を回遊できるよう工夫した。

### 一 象徴的な増床部エントランスとオープンエアなパームコート

既存部の東側中央メインエントランスは、本アウトレット施設の顔として、オーセンティックな重厚感を醸し出している。増床部に新設される北側エントランスは、主に公共交通機関や敷地北側方面から訪れる来訪者が、最初に見るエントランスとなる。北側エントランスには、遠方からも視認できるシンボル性とアイキャッチ性があること、そして別世界への門であり、そこから広がる非日常空間の期待感を膨らませるようなデザインが求められた。北側から施設にアプローチすると、木調横ルーパーで囲われた象徴的なエントランスタワーとその左右に広がる緑化壁面が見え、巨大な施設ファサードの中でひととき生命観に満ちている様子から、人々はこのエントランスに吸い寄せられることになる。タワーを横目に進むと、女王ヤシの木が林立するパームコートが現れ、そこには豊富な植栽が広がっ

ている。背丈ほどの植栽に囲まれた中に東屋風ギャザリングスペースを3棟設け、オープンエアの中で寛ぐスペースとし、まるで海外のリゾート地にでも来たかのような非日常体験をすることができる。そしてその奥に併設した、子どもの遊び場「NIJUIRO PARK」では、カラフルな色彩の遊具で、歩き回って遊ぶ子どもたちの楽しげな声が響いている。

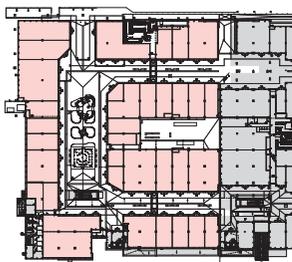
### 一 変化を続ける商業施設のあり方

コロナ禍での外出自粛やネットショッピング等の普及により、買い物の楽しみ方が多様化する中で、「THE OUTLETS HIROSHIMA」は、今回の増床を経て、リアルな世界でしか味わえない体験や楽しい時間が過ごせられる仕掛けづくりを一層充実させた。今後も、変化し続ける社会情勢を見極め、その都度、商業施設のあり方を追求し、より一層充実した施設へと進化し続けることだろう。そして、アウトレットがもっと身近になった新たなライフスタイルが生まれることを大いに期待したい。

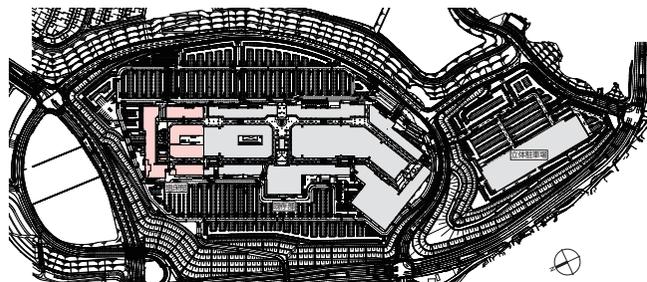
(宮武芳将/INPROUD)



上/増床部通路を見る 左下/増床部のオープンエアパーキングコート 右下/NJUIRO PARK



増床2階平面図 縮尺1/1,200



全体配置図 縮尺1/6,000

### 施工計画

「THE OUTLETS HIROSHIMA」は敷地自体に約5.5mの段差が500m続いており、その高低差を活かして全てのフロアに地上からアクセスできるように設定されている。今回の2階部分増床工では、前述のような特殊な地形から、「下部に既存店がある垂直増床エリア」と「既存店から独立した水平増床エリア」を分けて工事計画を立てる必要があった。

#### 一 施工上の重点管理項目

垂直増床エリアについて以下の2点を重点管理項目とした。

- ① 既存店営業のため、振動・騒音・臭気の規制を厳守 下階店舗等への振動の影響を考慮し、10tを超える車両は通行させず、小型トラックにて荷物の積み替えを行い、小運搬を実施し

た。また、大きな振動・騒音が発生する作業は、営業開始前までの時間制限を設定し実施。アスファルト防水等の臭気が発生する工事は、既存店閉店後の夜間に施工を行った。

#### ② 既存店上部での解体工事による漏水対策

設計により既存を解体する部分は最小限になってきたが、施工上、どうしても解体せざるを得ない部分については、既存の防水層を傷つけないことができないよう、徹底した管理を行うとともに、仮設の竇木や、厳重な雨養生により下階への漏水を防いだ。

既存店を通り営業する中での増床工事ということで、営業への影響を最小限とするため、夜間工事となることも多く、夜間専属職員を編成して対応した。感染症防止対策や長時間労働是正の観

点から、より一層様々な課題に対して緻密に計画する必要があったが、関係各社皆様のご尽力により、無事に工事を完了し、リニューアルオープンの日を迎えられたことに感謝したい。

(廣野行泰/大本組)



垂直増床部鉄骨建方状況 (写真提供/大本組)



施設全景



増床棟東側全景

### THE OUTLETS HIROSHIMA 増床 データ

所在地 広島市佐伯区石内東4-1-1  
 主要用途 商業施設  
 建築主 イオンモール株式会社  
 環境デザイン INPROUD  
 担当/宮武芳博  
 内装監理 ジーク  
 基本設計 松田平田設計  
 設計・監理 大本組一級建築事務所  
 担当/総括:丸尾浩文 意匠:三島直也、川上喜嗣  
 構造:氏家孝一 設備:木津伸哉、青木崇記  
 監理:吉野拓夫、馬場武志  
 施工 大本組  
 所長/廣野行泰 次長/三台高豊、瀧尾豊和  
 担当/山下晋司、清水拓也、高橋駿平、大黒瑞輝、戎井拓実、城戸智成

#### 【建築概要】

敷地面積 約268,000㎡  
 延床面積 約79,000㎡ (増床前比+約7,000㎡)  
 総賃貸面積 約59,000㎡ (増床前比+約6,000㎡)  
 店舗数 約230店舗 (増床前比+約30店舗)

建ぺい率 30.7% (許容90%)  
 容積率 39.66% (許容300%)  
 構造規模 S造 地上2階  
 最高高さ 12.36m  
 軒高 10.045m  
 階高 5.5m  
 天井高さ スケルトン  
 主なスパン 8.5m×8.5m  
 客用通路幅員 12m  
 通路幅員 46m  
 駐車台数 約4,500台  
 駐輪台数 約1,200台  
 地域地区 近隣商業地域  
 設計期間 2020年2月～2020年6月  
 工事期間 2020年9月～2021年7月

#### 【設備概要】

電気設備 受電方式/2.2kV、本予備2回線受電 予備電源/ディーゼル非常用発電機  
 空調設備 空調方式/ガスHPエアコン、電気式HPエアコン  
 衛生設備 給水/受水槽+加圧給水ポンプ方式 (市水) 給湯/個別給湯方式 (電気・ガス) 排水/下水道放流  
 防火設備 消火/スプリンクラー設備 (朝顔型)、補助放水栓 排煙/自然排煙 その他/自動火災報知機、非常放送設備、誘導灯、非常照明  
 特殊設備 壁面緑化設備  
 【主な外部仕上げ】  
 屋根 折板  
 外壁 ALC1100 (横張)、ALC1125デザインパネル、スチールパンドレル  
 外構 スタンプコンクリート、インターロッキング、アスファルト舗装  
 【主な内部仕上げ】  
 客用トイレ及びトイレ前通路 床/セラミックタイル 壁/EP-G塗装、メラミン化粧板 (壁紙) 天井/EP塗装



宮武 芳博……みやたけ よしひろ  
 1979年岡山県生まれ。横浜国立大学建設学科在学中、ヴァージニア工科大学に建築留学。大学院修士課程修了後、船場に入社。2018年INPROUD設立。現在、同社クリエイティブディレクター



川上 喜嗣……かわかみ よしつぐ  
 1987年岡山県生まれ。2013年北九州市立大学大学院国際環境工学科修了、同年大本組入社。現在、同社建築本部設計部専任設計二課副主任

廣野 行泰……ひろの ゆきひろ  
 1965年岡山県生まれ。1988年大本組入社。現在、同社東京支店作業所長

撮影/近代建築社 (清水向山)  
 P.●、P.●●:見開き、P.●左下・右下撮影/建築写



客用トイレ (コロナ箱のトイレのあり方)



協力会社  
(当社記入欄)